

早期景気観測調査

【6-7月期 調査結果報告書】

令和4年8月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 令和4年7月15日(金)～7月29日(金)
4. 調査対象： 当所会員132事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 81件
7. 有効回答率： 61.4%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【6-7月期の動き】

**全体業況は6.2と、前期と比較してほぼ横ばい。
仕入単価は▲86.4と3期連続の悪化となった。
向こう3ヶ月の業況は▲14.8と悪化する見通し。**

6-7月期の全業種総合の業況DIは、6.2（前期比0.1ポイント減）と、2期振りの悪化となったが、前期と比較してほぼ横ばいとなった。また、仕入単価DIは▲86.4（前期比6.4ポイント減）と3期連続で悪化した。向こう3ヶ月の先行き業況▲14.8と悪化する見通し。

業種別では、建設業が改善、卸売業、小売業、サービス業が悪化、製造業が横ばいとなった。

製造業の業況DIは0.0と前期と同じ値（横ばい）となった。

○改善⇒採算DI、従業員DI ○悪化⇒売上DI、仕入単価DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

建設業の業況DIは▲7.1（前期比12.9ポイント増）と2期振りの改善となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、従業員DI ○悪化⇒仕入単価DI

○横ばい⇒金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

卸売業の業況DIは▲12.5（前期比6.6ポイント減）と2期振りの悪化となった。

○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDI

向こう3ヶ月の業況は、横ばいの見通し。

小売業の業況DIは5.3（前期比0.3ポイント減）と3期振りの悪化となった。

○改善⇒売上DI、採算DI、金融貸出しDI ○悪化⇒仕入単価DI、従業員DI

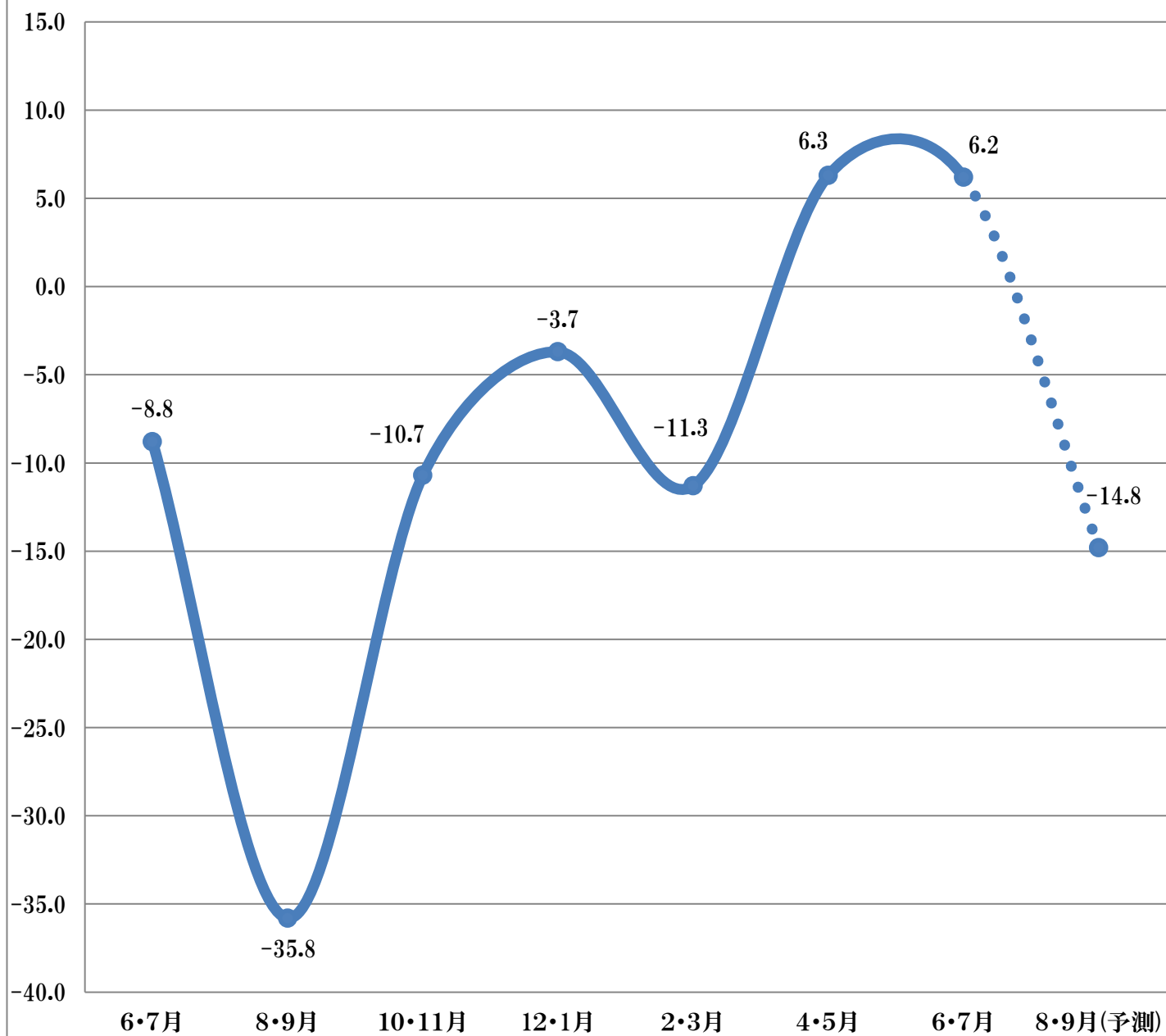
向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

サービス業の業況DIは50.0（前期比16.7ポイント減）と2期振りの悪化となった。

○改善⇒従業員DI、金融貸出しDI ○悪化⇒売上DI、採算DI、仕入単価DI

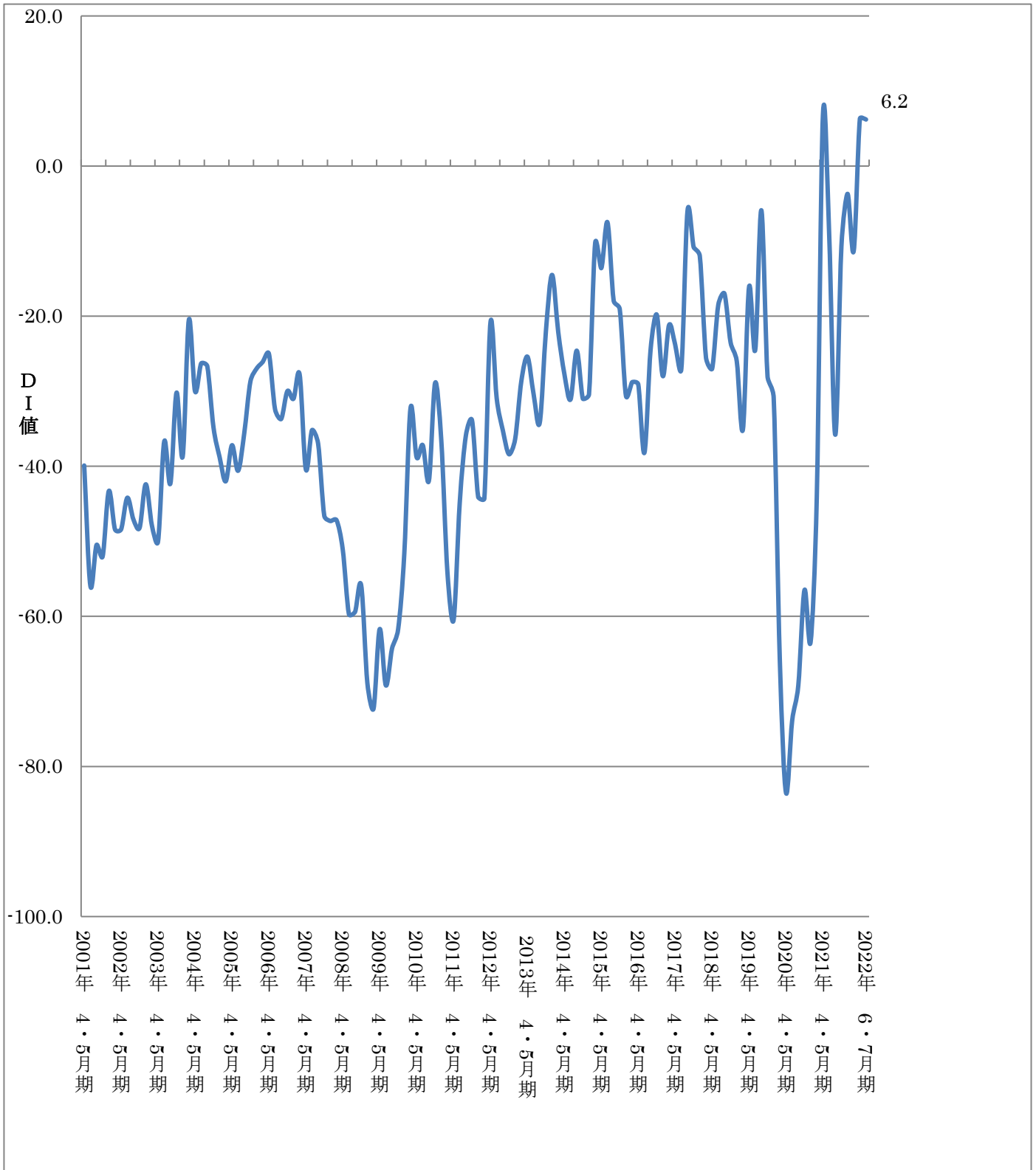
向こう3ヶ月の業況は、悪化する見通し。

業況DIの推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期 ~ 2022年6・7月期)

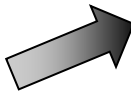





◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について





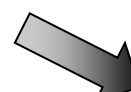
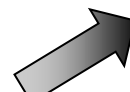

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
6. 2	▲14. 8	17. 3	▲11. 1	▲86. 4	27. 2	1. 2

6-7月期の全業種総合の業況D I は、6. 2（前期比0. 1ポイント減）と2期振りの悪化となった。

項目別

○3期連続改善⇒従業員D I（26. 3→27. 2）

○2期連続改善⇒売上D I（12. 5→17. 3）

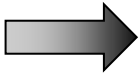
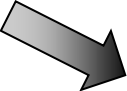

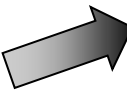
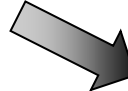
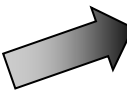

○3期連続悪化⇒仕入単価D I（▲80. 0→▲86. 4）

○今期より悪化⇒採算D I（▲3. 8→▲11. 1）、金融貸出しD I（2. 5→1. 2）

向こう3ヶ月の先行き業況は、▲14. 8と悪化する見通し。

◆ 業種別

製造業





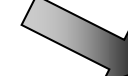


業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0. 0	▲16. 7	0. 0	0. 0	▲94. 4	33. 3	0. 0

業況D Iは0. 0と前期と同じ値（横ばい）となった。

項目別

- 3 期連続改善⇒従業員D I（16. 7→33. 3）
 - 2 期連続改善⇒採算D I（▲11. 1→0. 0）
 - 3 期連続悪化⇒仕入単価D I（▲88. 9→▲94. 4）
 - 2 期連続悪化⇒売上D I（22. 2→0. 0）
 - 3 期連続横ばい⇒金融貸出しD I（0. 0→0. 0）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲16. 7と悪化する見通し。

建設業





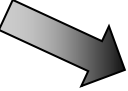
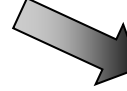
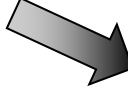
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲7. 1	▲14. 3	7. 1	▲28. 6	▲92. 9	35. 7	0. 0

業況D Iは▲7. 1（前期比 12. 9ポイント増）と2期振りの改善となった。

項目別

- 2 期連続改善⇒採算D I（▲40. 0→▲28. 6）
 - 今期より改善⇒売上D I（▲33. 3→7. 1）、従業員D I（33. 3→35. 7）
 - 2 期連続悪化⇒仕入単価D I（▲86. 7→▲92. 9）
 - 今期より横ばい⇒金融貸出しD I（0. 0→0. 0）
- 向こう3ヶ月の業況は、▲14. 3と悪化する見通し。

卸売業

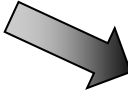


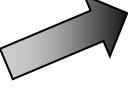

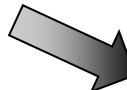
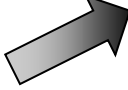
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲12. 5	▲12. 5	12. 5	▲37. 5	▲87. 5	37. 5	6. 3

業況D Iは▲12. 5（前期比6. 6ポイント減）と2期振りの悪化となった。

項目別

○今期より悪化⇒売上D I（17. 6→12. 5）、採算D I（5. 9→▲37. 5）、
仕入単価D I（▲82. 4→▲87. 5）、従業員D I（41. 2→37. 5）、
金融貸出しD I（17. 6→6. 3）
向こう3ヶ月の業況は、▲12. 5と横ばいの見通し。

小売業


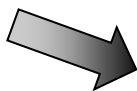
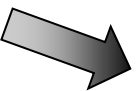
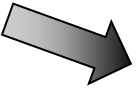
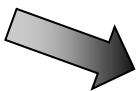
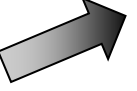

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
5. 3	▲21. 1	21. 1	▲15. 8	▲73. 7	0. 0	5. 3

業況D Iは、5. 3（前期比0. 3ポイント減）と3期振りの悪化となった。

項目別

○3期連続改善⇒売上D I（5. 6→21. 1）、採算D I（▲22. 2→▲15. 8）
○今期より改善⇒金融貸出しD I（0. 0→5. 3）
○3期連続悪化⇒仕入単価D I（▲61. 1→▲73. 7）
○今期より悪化⇒従業員D I（11. 1→5. 3）
向こう3ヶ月の業況は、▲21. 1と悪化する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
50. 0	▲7. 1	50. 0	28. 6	▲85. 7	35. 7	▲7. 1

業況D Iは50. 0（前期比16. 7ポイント減）と2期振りの悪化となった。

項目別

○2期連続改善⇒従業員D I（33. 3→35. 7）、金融貸出しD I（▲8. 3→▲7. 1）

○2期連続悪化⇒仕入単価D I（▲83. 3→▲85. 7）

○今期より悪化⇒売上D I（58. 3→50. 0）、採算D I（66. 7→28. 6）

向こう3ヶ月の業況は、▲7. 1と悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

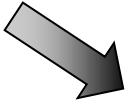
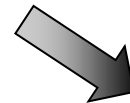
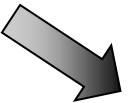


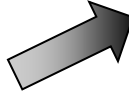
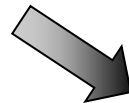
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

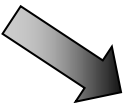
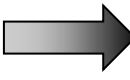
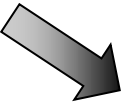
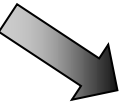
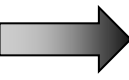


建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

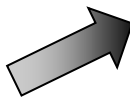
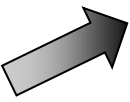
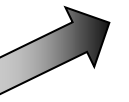
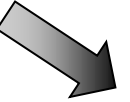
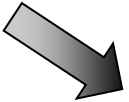
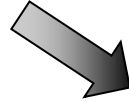
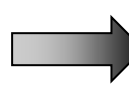
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

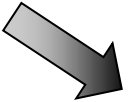
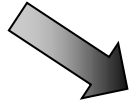
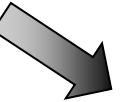
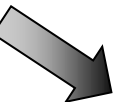
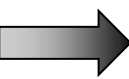
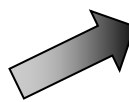

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



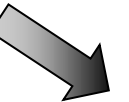
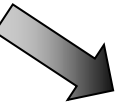

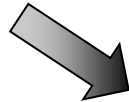
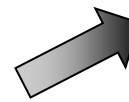
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


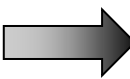

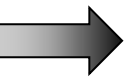
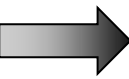
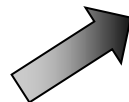

小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

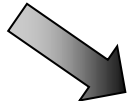
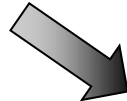
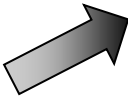
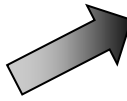
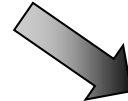
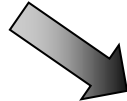

小売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

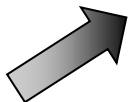
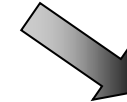
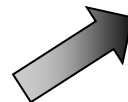
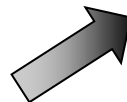
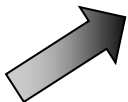

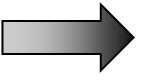
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


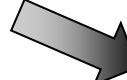


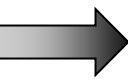
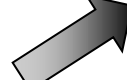
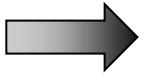
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

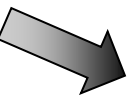
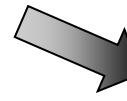
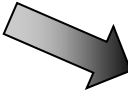
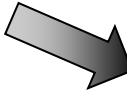
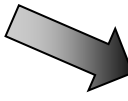
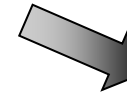
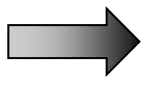
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

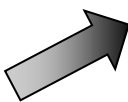
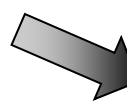
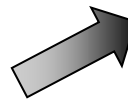
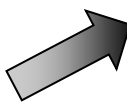
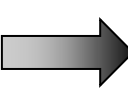

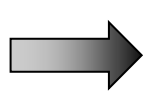
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題 等）

【製造業】

製造業（食品）

- ・自社商品の一部値上げを実施したが、それ以上に原材料、運賃、保管料、光熱費の値上げが利益圧迫。

製造業（工業）

- ・材料の高騰や納期の遅れにより、苦しい状況が続いている。
- ・前年同期に対し、大幅な円安傾向により売上、採算が改善したが、為替差益分を除くと前年同水準～やや悪化の実績となる。

製造業（宝飾）

- ・ウクライナ情勢の変化に伴う地金の高騰に影響を受けている。
- ・コロナや戦争、円安の影響により、ダイヤを始めとしたルース素材価格が高騰しているため、金価格が高値で安定してしまっている。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・1年前より状況は良化しているが、社員の出勤停止など、コロナ急拡大による影響は受けている。
- ・円安によって仕入単価が上昇し、影響を受けている。
- ・電気料金の高騰が利益を圧迫している。
- ・コロナ感染者数急増により、需要の減少が予測され、採算面では厳しい状況が続くと思われる。しかし、原油価格は下降傾向で、激変緩和措置と併せて仕入単価は下落の見通し。

【建設業】

建設業（建築）

- ・物件数はコロナ前の水準となったが、新築ではなく改修が半数以上であり、現地調査に労力を割かれている。

建設業（土木）

- ・責任感のある従業員が確保できない。また、材料高騰の影響も受けている。
- ・建築資材の値上がりや納期の遅れが顕著になり、不安要素が一気に増えた。

【小売業】

小売業（大型店舗）

- ・昨年に対し、県外からの来客数が上昇し、土産品や食品、飲食カテゴリーは安定している。しかし、コロナ禍前と比較すると9割ぐらい。

小売業（趣味・日用品）

- ・6月は行事（お祭りや学校行事など）が再開され始めていたが、7月に入り行事が止まってしまい、先行き不透明感がまた強まった。

小売業（食料品）

- ・コロナ不況や材料値上げにより、菓子業界は苦しい状況が続いている。

【サービス業】

サービス業（飲食）

- ・7月前半まで好調を推移していたが、コロナ患者急増により、来客数が減りだし、8月以降の予想がつかない状況。

サービス業（観光）

- ・6月は新型コロナ感染状況が低水準だったため、昨年より改善が見られた。今後は長期休みも控えているためプラス方向に考えているが、感染が悪化しているため、予断を許さない状況が続いている。

以上